

令和4年度第二回横浜市戸塚区民文化センター指定管理者選定評価委員会会議録	
日 時	令和5年2月15日(水)10時00分～12時20分
開 催 場 所	戸塚区役所9階特別会議室
出 席 者	藤崎晴彦委員長、常光明子委員、石田麻子委員、嘉藤亮委員、田内和男委員、岩崎地域振興課長、山本区民利用施設担当係長、青木、鈴木
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者0人)
議 題	1 開会 2 議事の説明 3 定足数の確認 4 委員会の公開・非公開について 5 指定管理者業務実績及び自己評価の確認 6 各委員による指定管理者へのヒアリング 7 委員会の総評 8 事務連絡 9 閉会
決 定 事 項	1 本委員会は「7 委員会の総評」以降については非公開とする。 2 各項目における委員会の評点を決定する。 3 委員会による総評は、事務局が各委員の意見を取りまとめ、委員長がこれを整理する。 4 会議録の内容については、事務局が作成し、委員長がこれを整理する。
議 事	1 開会 開会に先立ち、事務局より挨拶 2 議事の説明 本委員会の議事内容及び委員会の進め方について事務局より説明 3 定足数の確認 事務局から、本委員会が要件を満たしており、成立していることを報告 4 委員会の公開・非公開について (委員長) 各委員の率直な意見により、活発な議論を実施するため「7 委員会の総評」以降の審議について非公開としたいと考える。 (事務局) 条例や要綱に基づき、非公開とすることが認められることを説明 (委員長) 事務局の説明を踏まえて委員の皆様はいかがか。 (委 員) 異議なし (委員長) 「7 委員会の総評」以降については非公開に決定 5 指定管理者業務実績及び自己評価の確認 指定管理者から業務実績に基づくプレゼンテーションを実施

6 各委員による指定管理者へのヒアリング

1 「業務実施条件」、「施設運營業務」、「舞台設備等保守管理業務」

(委員 長) 事前に、各委員から出た質問事項として、「譜面台無料キャンペーンやホール割引料金の導入による効果」、「職員研修の成果に対する自己評価」について回答願いたい。

(指定管理者) 利用者サービスごとの効果測定は実施していないが、譜面台無料キャンペーンは、導入の前後を比較して稼働率が増加しており、ひとつの要因となっていると考える。また、リハーサル料金の割引については、積極的な広報を行っていないが、本番前のリハーサル料金や準備時間料金として適用している。

職員研修の成果については、コロナ禍で新たに、効果的な抗菌除菌の実施方法に関する研修を取り入れた。継続して実施したことで身についてきていると感じる。

また、実践形式や体験やワークショップなど、研修内容に動きを取り入れたり、スタッフ間のコミュニケーションを増やしたりすることで、スキルアップを図っている。利用者から対応についてお褒めの言葉も頂いており、効果が出ていると考えている。

(委員 長) 稼働率の減少や、開館時間を短縮した時も、保守管理費用が予算同額となっていることについて確認したい。

(指定管理者) 稼働率や開館時間に関わらず、経年劣化も考えられる。保守管理は、舞台担当が計画を立てて実施している。

2 「事業実施業務」、「評価業務」

(1) 鑑賞業務

(委員 長) 事業実施業務は、5つの小項目を順番に進めたい。まず、鑑賞業務について事前に質問があった、「連続公演シリーズ終了に対する新たな企画」、「地域ニーズの把握手法」、「ギャラリーの稼働率低下」について回答願いたい。

(指定管理者) まず、「連続公演シリーズ終了に対する新たな企画」について、これまでの長期連続公演シリーズではなく、年2回のプレミアム公演を開催していく予定。新たな企画としては、区民参加型のハイライトオペラシリーズを企画する予定。

次に、地域ニーズの把握手法としては、利用者アンケート、利用者との打ち合わせ、窓口相談のほか、地域連携インタビューとして企業や個人の方から意見をもらっている。また、戸塚区の地域施設間連携促進研修会も活用し、他の公共施設と情報共有している。それらを反映し、地区センターや保育園で落語やリトミックなどの、アウトリーチ事業を実施している。子育て連絡会にも参加しており、親子向けの企画へ反映したい。

ギャラリーの稼働率低下は、コロナの影響。1週間単位の貸し出しを基本としており、令和3年度は9つの催事、62日間のキャンセルがあった。

高齢者の利用が多いため、催事の中止が多くなっている。

(委員) 事業の中で、コロナ禍で得た経験や知識をブラッシュアップしていくための具体的なアイデアや構想はあるか。

(指定管理者) コロナ禍で得た感染対策の知識を活かし、これまでハードルが高かった合唱やワークショップも積極的に実施したいと思っている。

(2) 普及事業・創造支援事業

(委員長) 続いて、普及事業・創造支援事業について、「対象となる様々な年齢層に対するアプローチの仕方や目標の設定方法」について事前に質問があったので、回答願いたい。

(指定管理者) 子ども向けであれば、子育て連絡会や子育て支援施設にて広報誌等の配架をしている。シニア層は、フットワークが軽く比較的来館することが多いため、館に配架しているチラシ等から事業に参加してもらっている。若年層に対しては、SNSを活用するとともに、公演であれば出演アーティストからの発信も依頼している。

(委員長) 成果目標は設けているか。

(指定管理者) 公演後のアンケートをスタッフ全員で共有し、今後の課題を作成している。その課題解決をすることで、次の公演につなげている。

(委員) ターゲットとして狙った年代層について、アンケートによる確認や分析はされているか。

(指定管理者) アンケートから参加者の年代層は把握している。基本的には我々の求めるターゲットと合致している。

(委員) みなとみらいホールのような大規模ホールや他区の区民文化センターとの差別化について伺いたい。事業の展開方法の中で、変えるべき部分や逆に同様にすべき部分についてどのように意識しているか教えて欲しい。

(指定管理者) みなとみらいホールは、横浜市のフラッグシップ的なホールと捉えており、役割に違いを感じている。また、他区の区民文化センターとの、差別化については、地域性が大きく関わると考えている。施設の在り方を決めつけるのではなく、地域ニーズのアンテナを張ることが非常に重要であり、施設としては芸術鑑賞の場の提供や、地域の団体を支援する方向であるべきと考えている。

(3) 地域の文化活動支援事業

(委員) 地域で活動している邦楽団体は、年齢層が高く活動に苦慮している。洋楽だけでなく、邦楽にも力を入れてもらいたい。

(指定管理者) 令和3年には、琴の若手演奏家の公演をホールで実施した。チケットを取れなかった方々の声からも、需要があることを認識した。については、今後子ども向けの邦楽イベントも企画したい。

(4) PR等情報提供業務・相談業務

(5) 評価業務

(委員長) PR等情報提供業務、相談業務、評価業務について、事前に質問があった「施設案内の配布の効果」について、回答願いたい。

(指定管理者) 利用者へのダイレクトメッセージや市内の施設、地下鉄の駅への配架による情報発信直後は問い合わせが多く、また、イベント主催者から

	<p>も、施設からの情報発信が非常にPRになるとの声ももらっている。</p> <p>(委員長) 実施する事業特性によって広報媒体や方法を検討しているのか。</p> <p>(指定管理者) 基本的にはダイレクトメッセージやチラシの配架などによる広報を実施しているが、例えば、活動の広がりをもととして、利用者の活動状況をYouTubeで配信する事業では、情報発信としてSNSを活用した広報も実施している。</p> <p>(委員長) コロナ禍において、Twitterへの反響はどうか。</p> <p>(指定管理者) コロナ禍で大きな変化はなかったが地道にフォロワーを増やしている。</p> <p>(委員) YouTubeによる動画配信は大きな特徴であり強みだと感じる。一方で、個人のスキルに頼りすぎてしまうことで、当人への負担が大きくなるために、業務の公平な分担として考える必要がある。</p> <p>(指定管理者) 個人のスキルに頼ってしまう実情がある。初めての試みで多くのことに手を伸ばしてしまったため、今後は継続していくことを念頭に進めたい。</p> <p>3 中期的な事業展開・新規追加項目</p> <p>(委員長) 人材育成と管理面の課題点や、中途入社の方へのフォローについて伺いたい。</p> <p>(指定管理者) 中途入社については、個々に研修を実施している。内容としては、公共施設の運営についてや、個人情報の保護、コンプライアンスの研修を行っている。また、コロナ禍においては、オンラインの研修も増えているため、受けられるときにそれぞれが受けるようにしている。</p> <p>(委員長) 受講対象は研修内容によって分かれているのか。</p> <p>(指定管理者) 研修内容により全員で受講するものや、パートスタッフのみが受講するものもあるが、異なる職種同士での意見交換の場を設けることで、課題の共有や業務への反映につなげている。</p> <p>(委員長) 研修の効果測定は課題点だと思っているが、アフターフォローはしているか。</p> <p>(指定管理者) 必ず受講日中に、研修についての意見や感想、要望を聞いている。</p> <p>(委員) このホールに必要な人材の専門性をどうとらえているか伺いたい。</p> <p>(指定管理者) 求められる専門性については、スタッフの意見も聞きながら模索しているところ。公共の文化施設なので、話しかけやすい人柄、コミュニケーション能力がある人が望まれると思っている。</p>
	<p>7 委員会の総評</p> <p>非公開にて実施</p>
<p>配付資料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>(1) 評価委員名簿</p> <p>(2) 評価及び今後の流れについて</p> <p>(3) 各委員による仮評価表</p> <p>(4) 仮評価用事前送付資料</p> <p>2 特記事項 特になし。</p>